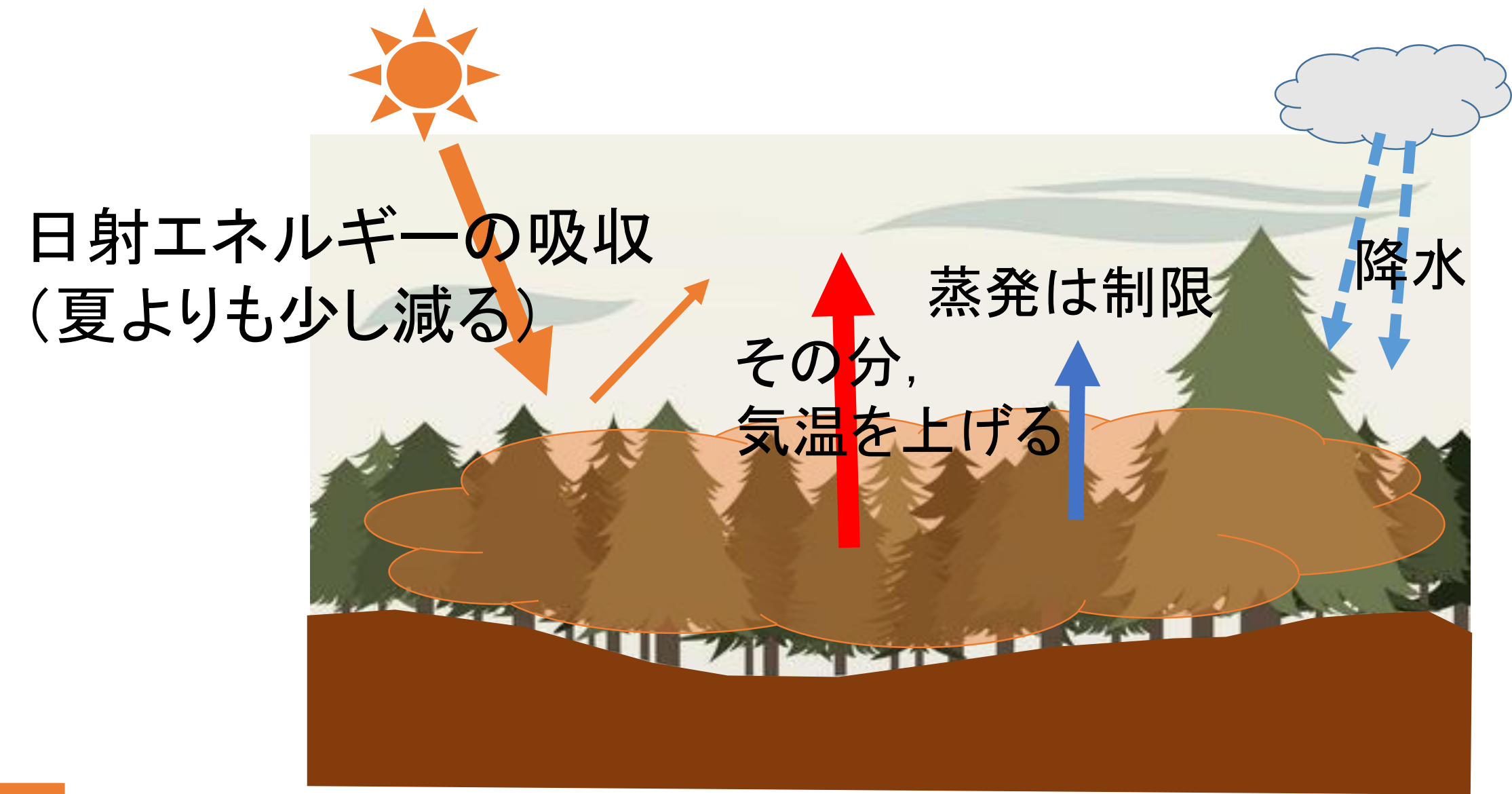
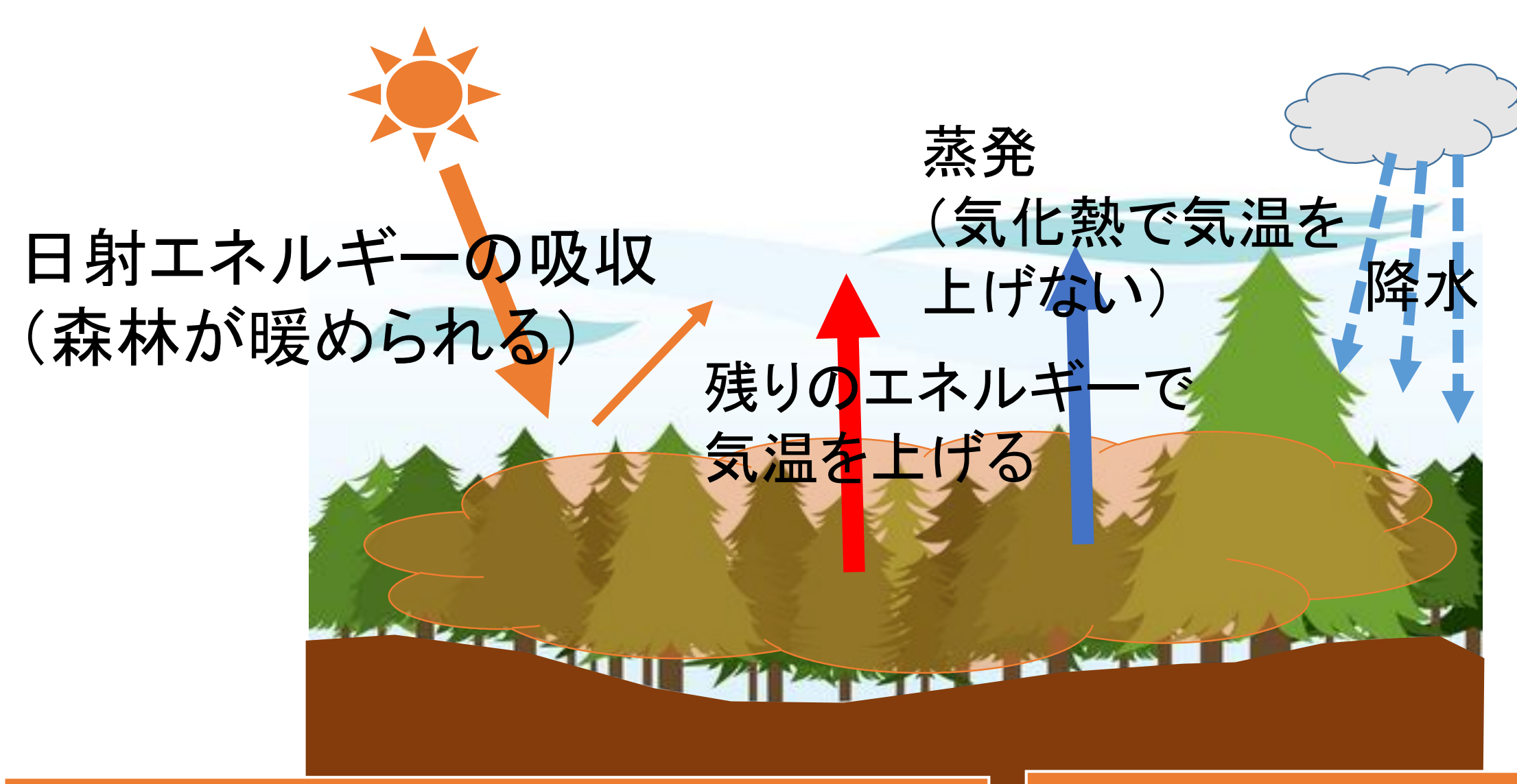


北方林はどのようにして育っているのか？

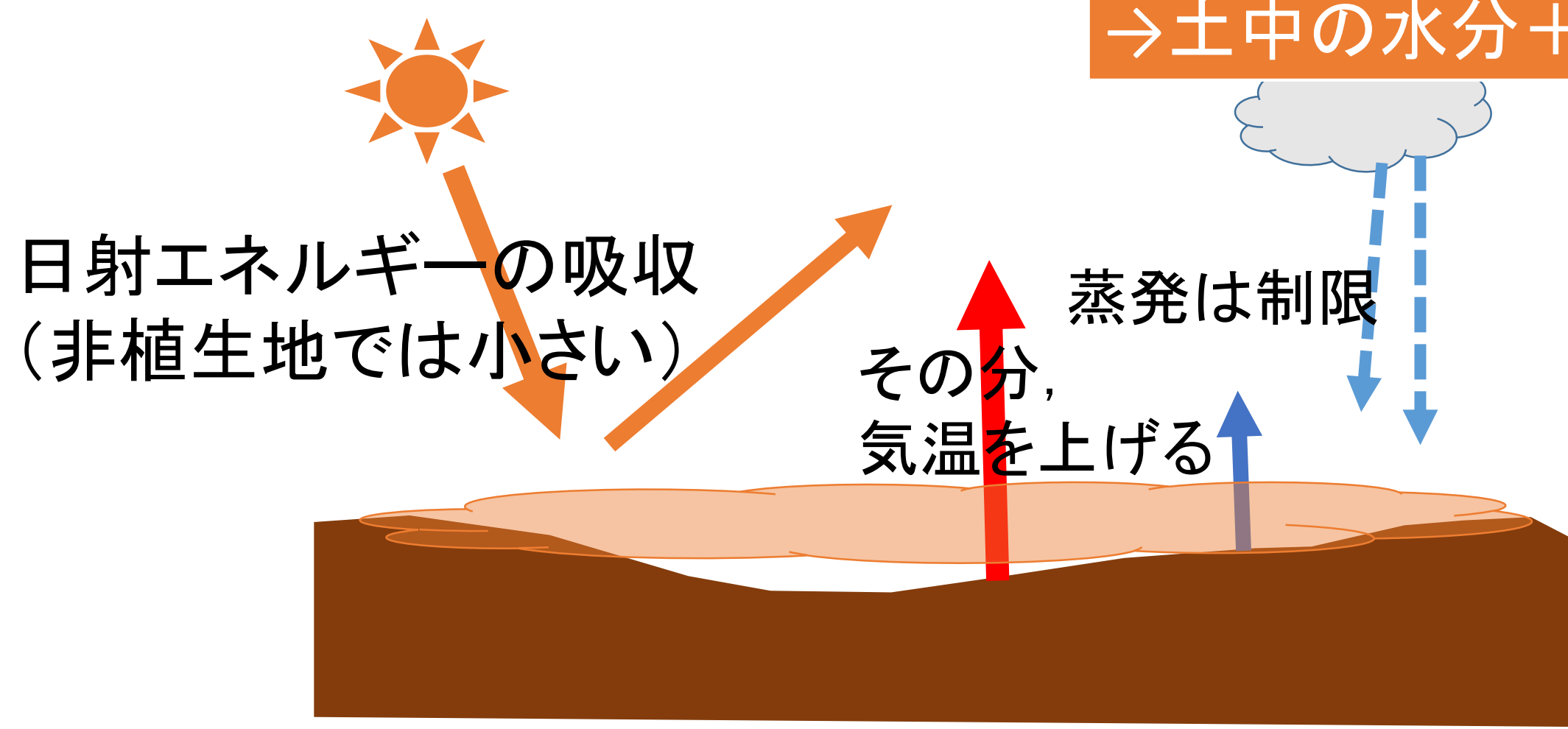
地球環境における北方林の働きー日本に住む私達にも無関係ではないのです

森林があることによる大気への影響



①反射率(アルベド)の違い→実験

②蒸発(蒸散)の違い→土中の水分+植物



同じ森林でも、植物活性が小さくなる冬季や落葉期には蒸発が小さく、日射エネルギーの多くが気温を上げるのに使われる。

非植生地や植物量の少ない場所では蒸発が小さく(すぐに地表面が乾燥するため)日射エネルギーの多くが気温を上げるのに使われる。

熱帯と寒帯で異なる森林の効果



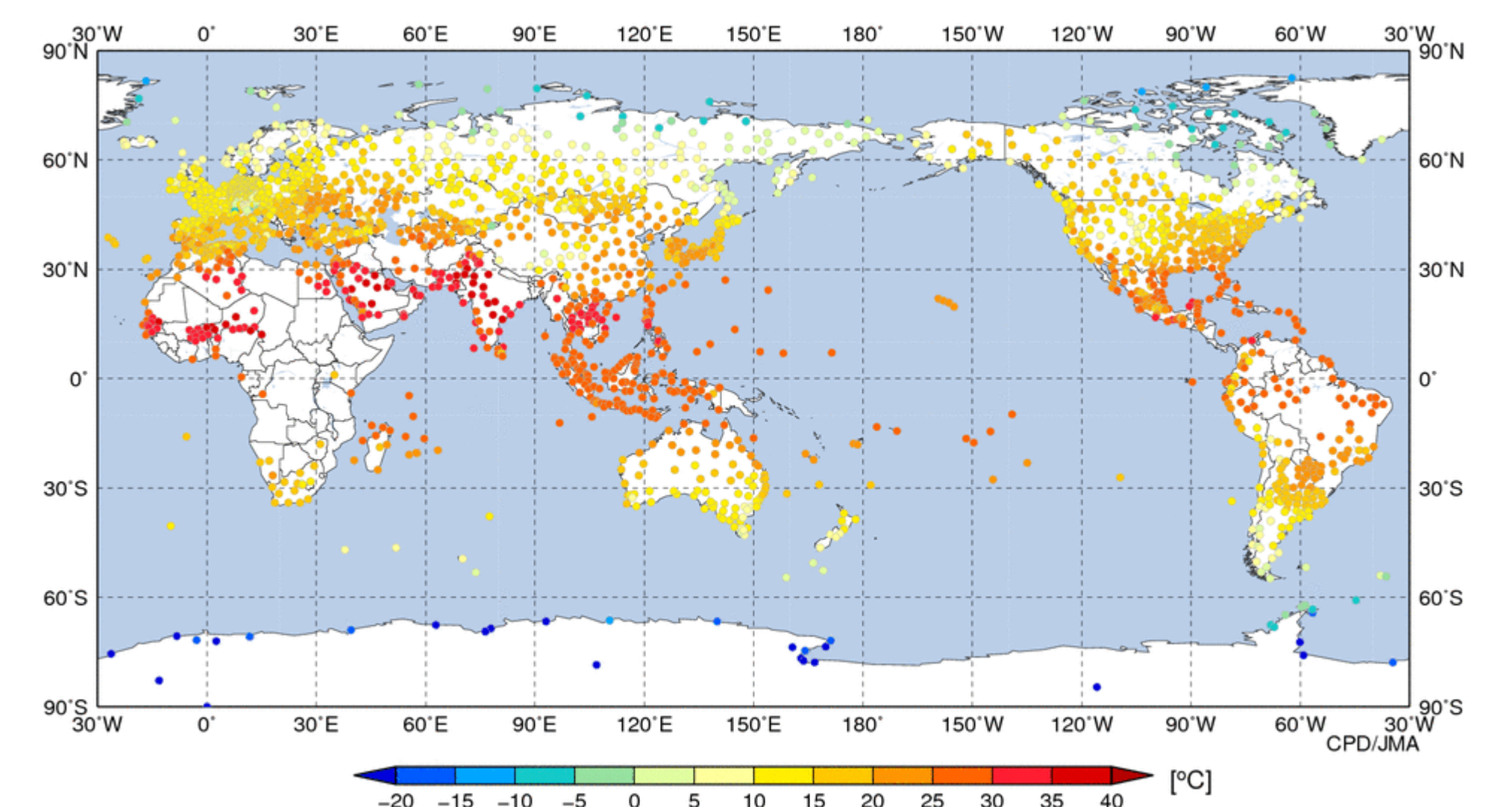
寒帯林(北方林)

植物量が少なく気温も低いので、**森林加熱を通して気温を上げる効果**が蒸発散よりも重要。



熱帯林

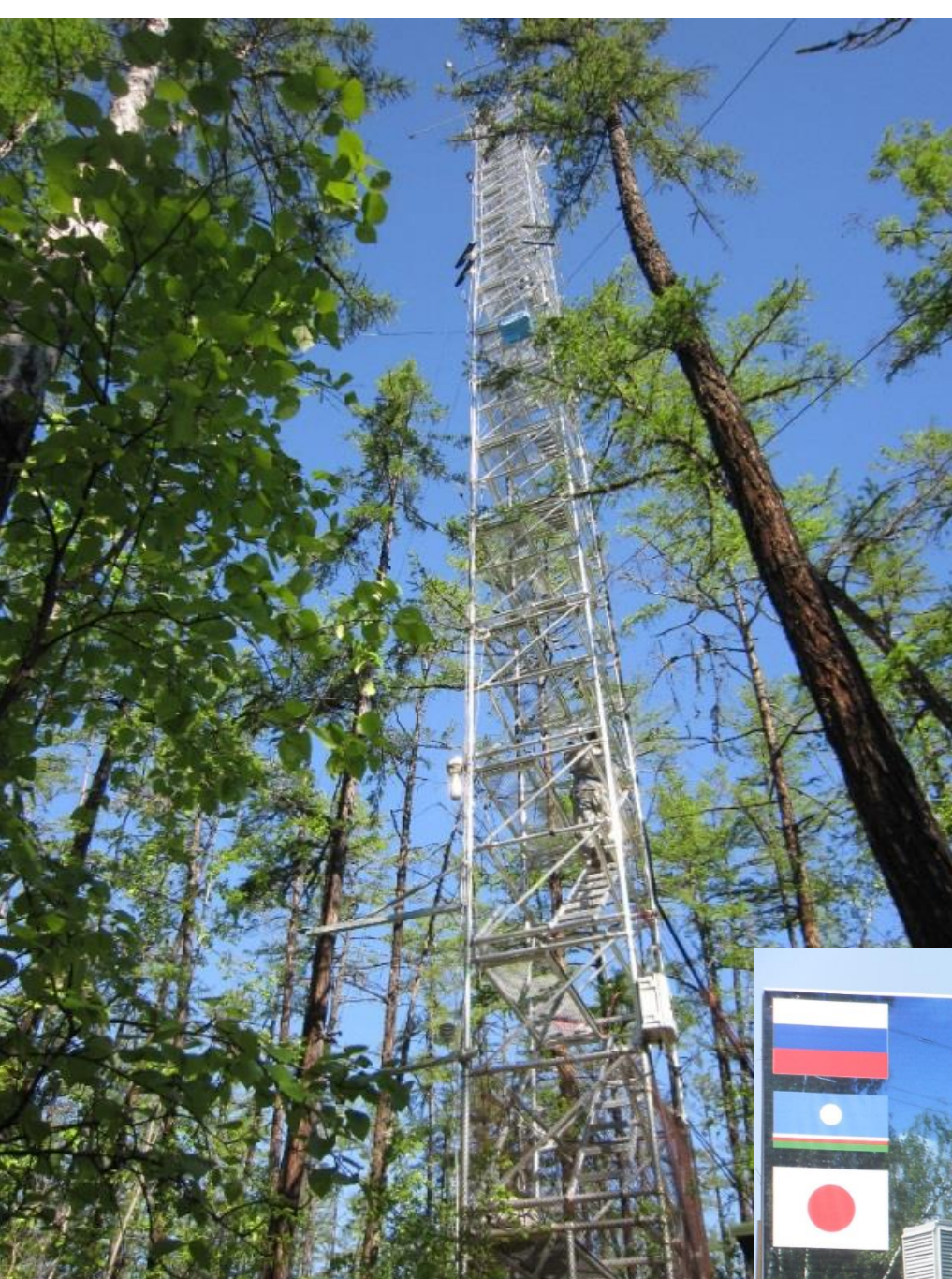
植物量が多いので、森林加熱の効果より**蒸発散による気温抑制効果**のほうが重要。(雲の形成による日射遮蔽効果もあり)



気温の分布(2015年5月, 気象庁)

陸上植物は、(大気+海流熱輸送に加えて)緯度方向の温度差を緩和する一面を持つ。

名古屋大学 農学部/生命農学研究科 森林気象水文学研究室での北方林研究



大学生や大学院生も教員と一緒に、ロシア・ヤクーツク周辺で、日本や外国の大学や研究所と協力して調査をしています。